



GE HealthCare

Company Profile

GEヘルスケア・ジャパン 会社案内



gehealthcare.com

GEヘルスケア・ジャパンは、日本の医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニーです。
GEヘルスケアの中核拠点の1つとして1982年に設立されて以来、グローバル企業としての強みを取り入れつつ、国内に有する開発、製造から販売、サービスまでの一貫した機能を活かし、質の高い持続的な医療を日本の皆様にお届けすることを目指しています。

かけがえのない瞬間をより豊かに— Improving lives in moments that matter

ご挨拶

GEヘルスケアは創始者トーマス・アルバ・エジソンが興したGEの技術と精神を源流に、130年以上にわたり患者さんをより良い医療へつなげることを使命として、医療現場とともに歩んできました。GEヘルスケア・ジャパンは1982年に設立され、日本に製造工場と研究開発拠点を構えるGEヘルスケアの中核拠点の一つとして、医療画像診断、超音波診断装置、麻酔器、患者モニタリング、造影・診断薬、デジタルソリューション、そしてメンテナンスサービスを提供し、幅広い領域で医療の意思決定と臨床・運用の現場を支えています。

私は1988年に当社に入社して以来、医療現場の最前線で医療従事者の皆様の課題に寄り添いながら、確かな技術と信頼性の高いソリューションをお届けすることに注力してまいりました。これまでの経験を通じて一貫して感じているのは、患者さんの臨床価値は「装置」だけでは完結しないということです。導入、運用、保守、教育、データ活用——それらすべての接点でお客様と伴走して初めて、医療の質と効率は前進します。

日本の医療を取り巻く環境には、医療従事者の不足と負荷、地域差、医療財政、デジタル化への移行など複雑な課題が絡み合っています。GEヘルスケアのパーパスである「ヘルスケアの無限の可能性を追求し、より良い社会を実現する——Create a world where healthcare has no limits」を目指すために、私たちが果たすべき役割は明確です。複雑な課題を正面から捉え、患者さんを中心に医療現場の実情を深く理解し、社内外のパートナーの皆様とともに新しい価値をスピード感をもって実装していくことです。

私が経営において大切にすることは、次の三つです。

- 第一に、**患者さん・お客様を起点とした連携**。現場の声を出発点に、製品・サービスの全体最適を追求し、全社が一丸となってお客様へ価値をお届けします。
- 第二に、**人材への投資**。優れた製品や仕組みがあっても、成果を生むのは人です。挑戦と学びが循環し、事業成長を通じて人材が育つ組織をつくります。
- 第三に、**インテグリティ**。信頼は一朝一夕では築けません。透明性のある判断と、やり抜く実行力で信頼を積み重ねます。

GEヘルスケア・ジャパンは、お客様・取引先の皆様とより一層強いパートナーシップを築き、医療現場の進化を加速し、ヘルスケアの未来を創造してまいります。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 CEO
松岡 慎一

松岡 慎一



日野から世界へ

GEヘルスケア・ジャパンの日野本社には、CTやMRI、超音波診断装置、それぞれの製品開発を行う数百名規模の技術者が在籍し、世界の中でも高い医療ニーズを求める日本のお客様の声を製品開発に反映しています。

また本社敷地内には、お客様にお届けする高品質な製品を40年以上にわたり製造し続けている日野工場があります。ここで製造されるCTやMRI、超音波は、日本国内だけでなく、アメリカ、中国、ヨーロッパ、中東をはじめ、世界中へ出荷されています。このように開発と製品を連携することにより、日本発の高品質な製品をお客様にお届けできることも、GEヘルスケア・ジャパンの強みです。

さらに、生産効率と品質管理向上を目的とした「カイゼン」に日々取り組む日野工場は、世界に約40あるGEヘルスケアの生産拠点の中で「リーンモデル工場」として高く評価されています。蓄積されたその知識や技術をGEヘルスケアの他工場にも反映させるべく、2012年から「リーンアカデミー」と呼ばれる実践的トレーニングを開催し、世界中の拠点に先進的な知見を共有しています。

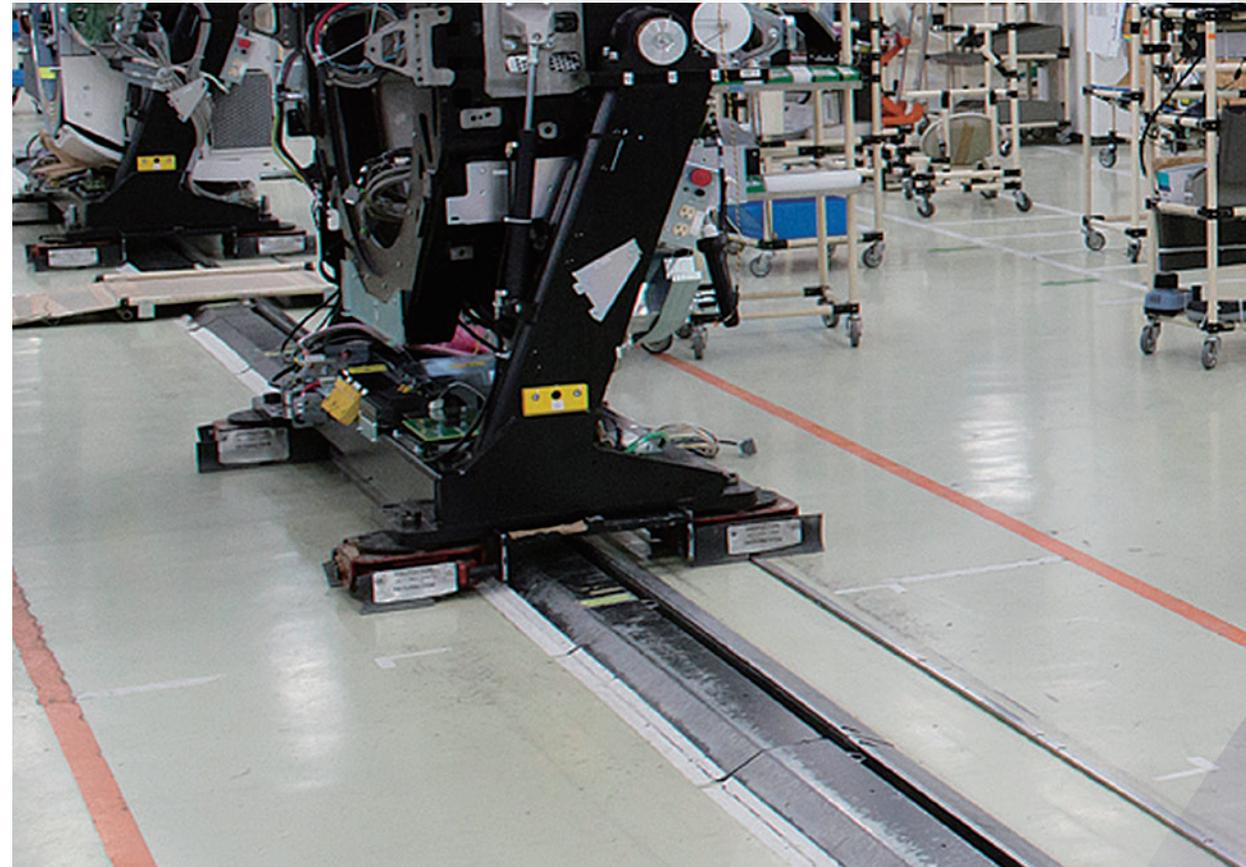


18世紀
産業革命

機械化
蒸気機関

20世紀初頭
フォードシステム

大量生産
電気エネルギー



“GE HealthCare brilliant factory”は第4次産業革命です。

20世紀後半
トヨタ生産方式

自動化
コンピュータ

2015年～
GE HealthCare brilliant factory

最適化
Internet of Things (IoT)

2019年～
Lighthouse認定

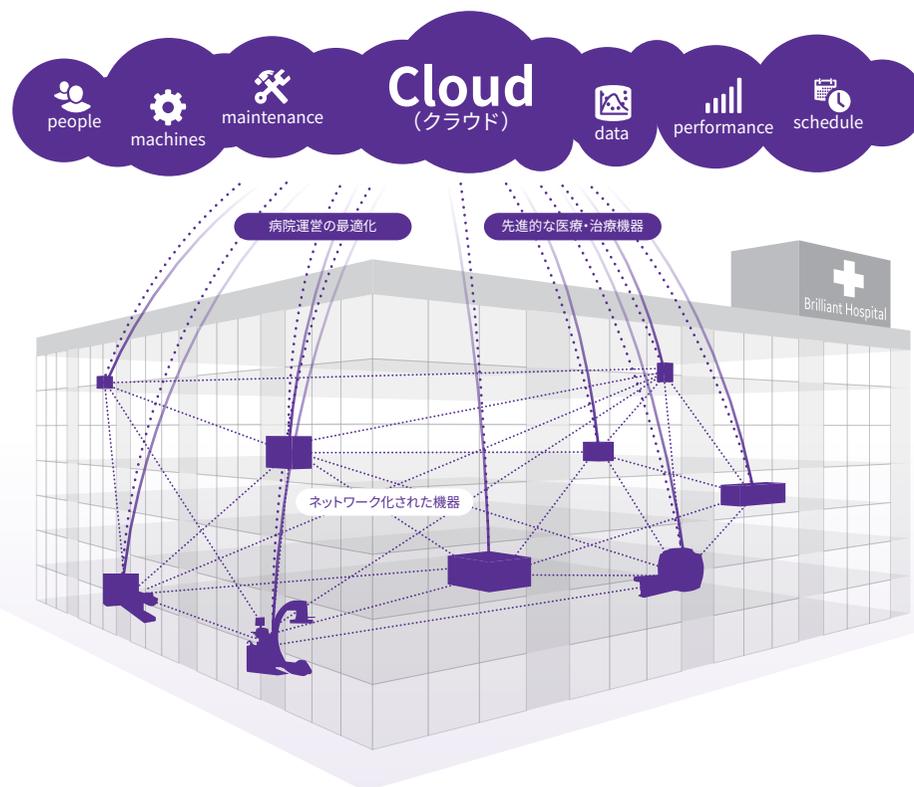
Hino Lights the Way 日野工場が照らす、医療の未来

リーンモデルをベースにIoTやデジタル技術を取り入れ、生産性や製品の品質や信頼性向上を目指すBrilliant Factoryのショーケースの一つとして、2015年に認定された日野工場はGEヘルスケアが世界で展開する約40の工場を代表すべき存在です。さらに2019年には、世界経済フォーラムが発表した“世界でもっとも先進的な工場「Lighthouse* (灯台=指針)」”として日本国内で初めて認定されました。



Brilliant Hospital ～デジタルが可能にする病院の未来像

Brilliant Hospital(ブリリアント・ホスピタル)構想とは、医療機器や医療データ、医療従事者の導線や院内業務など、病院内のあらゆる「人・モノ・情報」をネットワークに接続・統合し、収集したビッグデータを一元的に高度分析したうえで医療現場において活用することで、各診療科のみならず業務に携わる医療従事者や病院経営者に対して新たな知見と自動化を提供する新しいサービス体系です。ネットワークとソフトウェア、および全国のサービスデリバリーチームをプラットフォーム(基盤)として整えることで、医療施設間の連携を拡大できるだけでなく、物理的な制約を超えたりソースと資産の最適化にも役立つと考えられています。



～卓越した・最適化された～ ブリリアントな病院

院内の人・モノのデータをBig Dataの源に、
病院運営の未来資源へ

デジタル化された院内業務

予知・予防的な分析能力

高い生産性を持つ従業員

自己調整・自動化された機器

遠隔監視・遠隔分析の常態化

「Brilliant Hospital」構想に基づいた、日本のお客様の課題解決を支援するソリューションをご紹介します。

※ソリューションサービスの対象となる装置及びシステムは、GEヘルスケア製のものに限りません

Performance Intelligence Analytics

病院経営および部門運営を支援する
分析・コンサルティングサービス

病院経営および部門運営をされているお客様が抱える課題を整理したうえで、医療機関が保有するデータを分析、課題解決に必要な業務指標・経営指標を可視化させ、改善にむけたコンサルティングサービスを提供します。



可視化・分析ツールの提供



顧客課題の特定と
改善に向けたコンサルティング

Clinical Performance Management

放射線科向け検査効率改善
ソリューションサービス

お客様の医療施設に設置されている大型の画像診断装置から、稼働および検査データを取得・分析することで、検査部門が抱える様々な課題の解決をリードします。

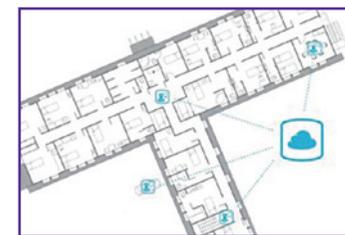


装置から検査・稼働データを取得し分析

Asset Performance Management

院内管理者向け機器の共有・最適配置
ソリューションサービス

病棟や生理検査室に配置されている超音波診断装置等の稼働状況を分析し、可視化することで、機器配置の最適化や、機器共有の促進などを図り、お客様の効率的な機器運用を支援します。



ロケーション情報を用いて稼働状況を取得



分析データを基にした改善活動をリード

事業概要

GEヘルスケア・ジャパンは、世界レベルの医療技術と知見、国内に有する開発、製造、および販売、サービスの機能を通じて、お客様とともに、より質の高い持続的な日本の医療の提供に貢献しています。

HealthCare

精細な画質による的確な診断、オペレーション効率向上、経営改善など、お客様が成し遂げたい目標を実現するための先進的な画像診断技術や、安全性を考慮したストレスの少ない手術室全体のソリューションを提供します。



Revolution Maxima

- CT(コンピュータ断層撮影装置)
- MRI(磁気共鳴断層撮影装置)
- PET/CT・SPECT/CT(核医学検査装置)
- X線撮影装置(一般撮影・マンモグラフィ・血管撮影・外科用イメージ)
- 超音波画像診断装置
- 麻酔器
- 生体情報モニター
- 骨密度測定装置 他



放射性医薬品合成設備FASTlab



Voluson E10

医療の現場を支えるGEヘルスケアのサービス

機器が安定的に稼働し、安心してお使いいただくために、GEヘルスケア・ジャパンでは、高い知識と技術力を持った全国のフィールドエンジニアと、日野本社内にあるカスタマーサポートセンターによる24時間対応、専用オンライン回線(ICT)による監視、分析サービスなど、医療現場に求められる「生産性」と「医療の質」、「安心と安全」の向上をサポートするサービスを提供しています。

HealthCare Digital

検査から読影まで、部門全体の生産性、および診療品質の向上を支援する「放射線科向けソリューション」、施設内連携および地域連携を支援するベンダーニュートラルな「統合診断ソリューション」を提供しています。また、データマネージメントソリューション(DMS)により、VNAでのデータ管理、AIを活用した読影効率化、データ分析や可視化ツールによる運営効率化などを支援します。



Centricity Universal Viewer

● Total Radiology Solution

検査から読影まで、部門全体の生産性、及び診療品質の向上を支援する、放射線科向けトータルソリューション

● VNA Solution

ベンダー・ニュートラル・アーカイブを補完する OCDB(Open Connect DB)を新たに加えた データ統合ソリューション

● Cloud Solution

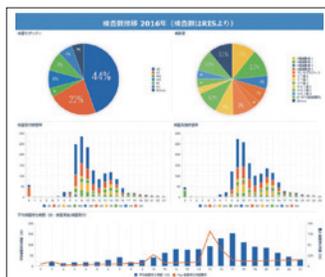
クラウドサービスに必要な関係省庁ガイドラインに準拠した、安心・中立のクラウド型の 医用画像外部保存ソリューション

● 医療データ分析サービス

病院の経営改善、放射線などの 部門運営の改善をサポートする データ分析およびコンサルティングサービス



Centricity Universal Viewer 2FP



Applied Intelligence

Pharmaceutical Diagnostics

画像診断用造影剤を中心とした医薬品の製造販売、および医薬品原料の輸入販売などを行っています。造影剤の製造販売はGEヘルスケアファーマ株式会社が担当し、核医学診断薬については、関係会社の日本メジフィジックスを通して事業を行っています。

GEヘルスケアファーマ株式会社の造影剤

- オムニパーク® 非イオン性X線用造影剤
- ピンパーク® 非イオン性等浸透圧X線用造影剤
- ガドテル酸メグルミン静注38%シリンジ「GE」 環状型MRI用造影剤
- オムニスキャン® 線状型非イオン性MRI用造影剤
- ソナゾイド® 超音波診断用造影剤



GEヘルスケアのカルチャーと人材育成

時代に適応し、絶えず進化を続けているGEヘルスケアの企業文化と人材育成。

社会的な課題解決に注力した事業を行うことで継続的な成長を目指すGEヘルスケアの強さの源です。

GEヘルスケアにおけるリーダーシップ

GEヘルスケアでは、誰でもリーダーシップを発揮して働くことが期待され、社員一人ひとりの成長が、GEヘルスケアの成長につながると考えています。私たちの行動指針となるGE Leadership Behaviorは、時代に適応し、絶えず進化を続け、私たちのチームとしての成功を支える基盤となっています。

GEヘルスケアにおいて、リーダーシップ、人材育成は最も重要とする経営戦略のひとつとして位置づけられ、育成のための教育研修プログラムに多くの投資をしています。

GE Leadership Behavior

- Act with Humility (謙虚さを貫く)
- Lead with Transparency (透明性をもってリードする)
- Deliver with Focus (戦略を立てて成果を出す)

Leadership Development

GEヘルスケアでは、私たちの130年に渡る歴史の中で、リーダーシップを育む組織文化があります。挑戦的な経験を集中的に積めるリーダーシッププログラムや、世界中の募集ポジションからキャリア発展の機会に手を挙げられる社内公募システム、年間300名が参加する社内研修など、多彩なプログラムで社員の成長を刺激します。2022年からは、スタートアップや医療機関などに出向し、事業の立ち上げや病院経営などさまざまな業務を体感してくる社外越境も開始しました。これらの経験による成長に加え、メンバーが最高の力を発揮できるよう、率直にインサイト(フィードバック)を与え合うオープンでフラットなカルチャーがあります。



Diversity(多様性)

さまざまなバックグラウンドや事情を持つ個人を尊重し、その違いを活かすことは、企業の成長にとって不可欠なもの。GEヘルスケア社内には、「ウィメンズ・ネットワーク」や「バリアフリー・ネットワーク」、「GLBTA」など様々な組織があり、ビジネスを超えた取り組みを行っています。

GEヘルスケア・ジャパン管理職に占める女性比率は約15%、理系を中心に行っている新卒採用の約半数は女性です。また産休復帰率もほぼ100%、社員一人ひとりが自らのライフスタイルに合わせて柔軟な働き方ができる環境です。さらに、がん罹患者を含むダイバーシティへの取り組みが成長戦略に組み込まれていることが評価され、2017年、東京都の「がん患者の治療と仕事の両立への優良な取り組みを行う企業表彰」で奨励賞を受賞しました。



働き方改革

働き方に関する社員からのさまざまなニーズに対応するため、また経営戦略としてのダイバーシティ&インクルージョン(社員一人ひとりの個性や能力、スキルを互いに認め合い、かつそれを活かす取り組み)を推進していくために、GEヘルスケア・ジャパンではさまざまな施策を行っています。昨年度は、個人のライフスタイルに合わせて、在宅勤務以上に、働く時間・場所を自由に選択できるリモートワークを全社で導入。電話・TV会議の普及や、フリーアドレス制度の開始など、より柔軟な働き方を可能にする環境・制度を整えるとともに、社員一人ひとりのマインドセットを改革していく取り組みが進んでいます。



GEヘルスケア・ジャパン沿革

GEヘルスケア・ジャパンは、1982年、トーマス・エジソンが設立したエジソン・ゼネラル・エレクトリックカンパニー（GE）と横河電機との合併会社「横河メディカルシステムズ」の設立により、その日本での歴史が始まりました。以来、「世界がいま本当に必要としているものを創るのだ」というエジソンの発明の精神を受け継ぎ、38年にわたり、日本の医療課題解決のために取り組んでいます。

1892年	エジソン・ゼネラル・エレクトリック・カンパニーとトムソン・ヒューストン・カンパニーの合併によりGE設立
1903年	GEが東京に販売事務所を開設
1913年	GEのW.D.クーリッジが高真空熱陰極X線管（クーリッジ管）を発明
1920年	横河電機製作所設立
1968年	GE、GEメディカルシステム（GEMS）を設立
1976年 12月	GEと横河電機がGE製CT販売に関する代理店契約締結
1982年 4月	GEと横河電機の合併により横河メディカルシステム株式会社設立
1982年 10月	自社開発による全身用コンピュータ断層撮影装置「CT8600」を発売
1992年 11月	ISO9001認証取得
1994年 4月	社名をGE横河メディカルシステム株式会社に変更
1998年 4月	アマシャム株式会社とファルマシア バイオテック株式会社が合併し、アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社設立
1998年 10月	ISO14001認証取得
2000年 4月	テクニカルセンター竣工
2000年 6月	横河電機が保有する普通株式を議決権のない優先株式と交換
2002年 1月	アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社がアマシャム バイオサイエンス株式会社へ社名変更
2003年 9月	GEが世界共通で定める職場安全衛生基準「グローバルスター」認証取得
2004年 1月	事業部門名をGEメディカルシステムからGEヘルスケアに変更
2004年 4月	日本GEマーケットメディカルシステム株式会社と合併
2004年 4月	米国GEによる英国アマシャム社買収完了に伴い、アマシャム バイオサイエンス株式会社がGEヘルスケア部門の一員となる
2004年 10月	デーテックス・オメダ株式会社と事業統合
2006年 1月	アマシャム バイオサイエンス株式会社からGEヘルスケア バイオサイエンス株式会社へ社名変更
2006年 2月	GE、トリノオリンピックから2020年まで、オリンピックワールドワイドスポンサー
2009年 8月	GE横河メディカルシステム株式会社とGEヘルスケア バイオサイエンス株式会社が事業を統合し、社名をGEヘルスケア・ジャパン株式会社に変更
2015年	日野開発の初の3T MRI、SIGNA Pioneer発売
2016年	日野工場がブリリアント・ファクトリーの最初のショーケースサイトの一つに選出
2019年	日野工場、世界経済フォーラム（WEF）によりライトハウス（灯台）に認定
2023年	GEグループから分社化し、独立上場企業となる

1879



エジソンが炭素フィラメント式白熱灯を発明

1937



患者の自宅にも持ち運べるポータブルレントゲン装置を開発

1976



わずか5秒で詳細な断面X線写真が撮影できるCTスキャナーを開発

1982



日本国内で初めて自社開発された全身用CT

2004



世界初のポリウムCTであるLightSpeed VCT開発

2015



世界で初めて音のしないMRI検査を実現

2016



飛躍的に生産効率と品質管理を高めることに成功したBrilliant Factoryのショーケースサイト、日野工場



GE HealthCare

企業概要 2025年度 改訂版

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

設立 1982年4月1日
資本金 10億円
従業員数 約1,700人
売上高 1,279億円(2024年12月期)
本社所在地 〒191-8503
東京都日野市旭が丘4-7-127
営業・サービス拠点 全国約60カ所

※2025年4月時点

GEヘルスケア

本社所在地 イリノイ州シカゴ
従業員数 約53,000人
売上高 197億ドル(2024年12月期)
代表者 ピーター・アルドゥイーニ

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

TEL: カスタマーコールセンター 0120-202-021



Facebook GEヘルスケア・ジャパン公式アカウント
<https://www.facebook.com/gehcjp/>

記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

Rev.1.0 2025/11 5AA・BE-KC6(KM・KM) Printed in Japan Bulletin A0A4 JB81611JA

